

百日咳に注意してください!!

現在、全国的に百日咳が流行しており、県内でも百日咳の患者報告が増えています。百日咳はどの年齢の方でも感染する可能性があります。1歳以下の乳児が感染すると重症化しやすく、特に生後6か月以下では死に至ることがあるため、小さいお子さんがいる家庭は特に注意が必要です。

年長児や成人では激しい咳発作が見られない傾向もあり、気づかないうちに感染源となっている可能性があります

早めに受診をして家庭内での感染を予防しましょう。

百日咳とは？

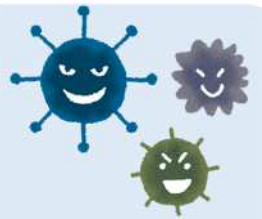
特有の咳発作を特徴とする急性気道感染症。

短い咳が連続的に起こり、息を吸うときに笛の音のようなヒューという音が出る。

激しい発作は2～3週間でおさまるが、その後も発作性の咳がでる時があり、2～3か月で回復する。

感染経路

- ・咳やくしゃみによる飛沫感染、接触感染によって人から人に感染
- ・感染力が強く、家庭内や学校などで感染拡大



△百日咳に対する免疫を持っていない集団の中に1人の感染者がいた場合、16～21人に感染させてしまうと言われています
(インフルエンザは2～3人、おたふくかぜは11～14人)

治療法は…

発症早期に抗菌薬を服用すれば、症状の軽減と周囲への感染期間の短縮が期待できます。咳が長引くときは、早めの受診を心がけましょう。

予防するには…

・手洗い、咳エチケットをしっかり行う



・乳児期には五種混合ワクチンの定期接種を確実に受ける

ワクチン接種で重症化予防!



佐賀県杵藤保健福祉事務所
健康推進課 健康推進担当